

平成30年度埼玉県オハイオ州スカラシップ
機械工学インターンシップコース レポート⑦

「Good のその次へ」

山本 達也

・インターンシップ編

残すところインターンシップも残り2か月を切りました。残り少ない日数でできる限り多くのことをしたいと思います。引き続き3Dプリントパーツの量産を行っていますが4つ出力するために36時間かかります。そのため、長時間使ってよい時間を聞きつつ、作成しています。この部品を制作するにあたって、今まであまり関わらなかった部署の人とも話すようになりました。そういった時に、「How are you doing?」と尋ねられることがあります。以前はGoodとだけ答えていましたが、最近では今やっていることの詳細や相手の事を聞くようになりました。日本式の挨拶と同じように考えると、返答後に会話を終わらせても自然だと思っていましたが、状況にもよりますがアメリカ様式ではそこから会話を広げていくようです。オハイオ州で6か月間暮らし、たくさん挨拶をしましたが、この文化の違いによりやく慣れてきました。

同時進行で新しいプロジェクトを任せられました。コンベア上のパーツを止めるストッパーパーツの剛性が足りないため、たわんでいました。そのため、後の工程の中でコンベア上のパーツをロボットが拾えない事があり、生産が一時停止してしまうことがありました。その問題を解決することがこのプロジェクトです。パーツの動きを観察し、問題点を書き出して、そのために何をすべきか、何が必要かをブライアン氏に報告しました。ストッパに補強パーツを付け加え剛性を上げることに決め、ラフスケッチや図面を引いて説明を行った後に工作機械を使う許可を得ました。その日、ほぼ付きっきりで手伝ってくれたのがトロイ氏です。私のレポートにたびたび登場する彼ですが、若かりし頃、日本に留学をした経験があるようで、私の状況や言葉の難しさ、海外でのコミュニケーションの難しさなどを理解してくれます。会社の工作機械の使い方を丁寧に説明していただき、無事に部品を作ることが出来ました。組み立てたものを見せるとGood, Good!とってくれました。将来、会社で外国の人と仕事をする時、トロイ氏が私に接したように優しく、外国の人とコミュニケーションを取ろうと思います。



左、補強パーツなし、右、補強パーツあり

・フィンドレー大学での生活編

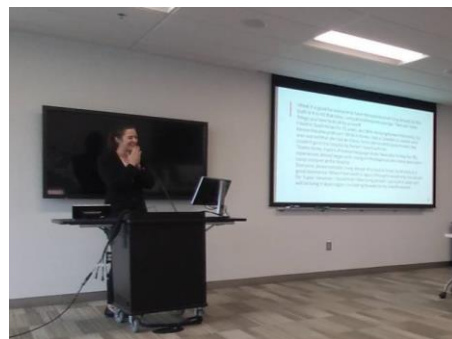
学期が始まり、新しいクラスも始まりました。英語のクラスでは私を除いて全員サウジアラビアの人です。クラスではアラビア語が飛び交う事も多々あります。私はアラビア語が分からないので英語でどんなことを話しているのか聞きます。彼らと話しているうちに、サウジアラビアがいつの日か行ってみたい国になりました。

前の学期からランゲージエクステンジを行っています。ランゲージエクステンジとは日本語を教える代わりに英語を教えてもらうというものです。留学の最初の頃は英語がまともに話せなかったのがフィンドレーの学生と話す事がとても怖かったです。笑われたり、変に思われたりするのが嫌でした。ただこの言語交換に誘ってもらったこと、そして話すことでこの考え方も変わりました。練習して場数を踏むことで聞き逃すことも減り、笑われるのは第二カ国語を学ぶ際に必ず通る道だと感じるようになりました。今回のレポートでは私が言語交換を行っている2人の方について書こうと思います。

まずは、アンナさんについてです。彼女の専攻は英語教示法で今年の4月から日本の高校に就職が決まっています。そのため前の学期から英語を教えてもらう代わりに日本語や日本の文化を教えています。彼女のおかげでいろいろな言葉の使い方を知ることができました。私が変な言葉を使っても決して笑わず理解しようとしてくれます。そのため、今まで使ったことのない言い回しや言葉を使いこなせるようになりました。遊びに誘ってくれることもあって、教会のクリスマスイベントやマラソンに一緒に行きました。今月は彼女が出演する日本語スピーチコンテストの手伝いをしました。残念ながら賞は取れませんでした。帰りに食べた焼肉はとても美味しかったです。アメリカに滞在している間、いろいろな事を助けてもらいました。日本に帰国した後は恩返しをしたいと思っています。

次にセミネロさんについてです。先月から、セミネロさんという方と言語交換を始めました。彼は日本のアニメに興味を持って日本語を学ぶようになりました。お互い工学部卒ということもあって話が合います。アニメを教材にしながら日本語について説明します。彼は日本へ留学することが決まっているので、彼が日本に来た時には埼玉や東京を観光しに行こうと思います。そして将来、彼が就職してアメリカで働き始めたら、トロイ氏のようになって欲しいと思いました。

留学をすることで留学している人や海外で暮らしていく大変さや言語の壁などで苦労している人がたくさんいることがわかりました。



スピーチコンテストでのアンナさんの様子